

〈楷書〉

（この課題で書体は自由。但し、この課目は一人一点のみとする）

抱甕荷鉏非鄙事
栽華移竹似清談

清原大龍先生書

〈行書〉

抱甕荷鉏非鄙事
栽華移竹似清談

吉田成美先生書

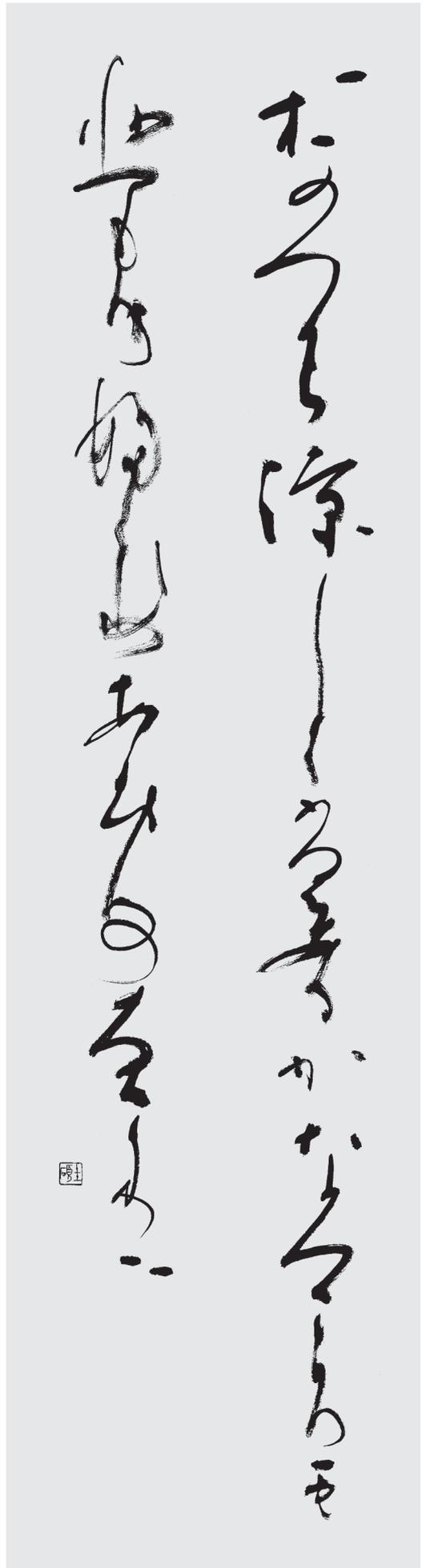
□ 甕かまを抱すき鉏すきを荷になう鄙ひじ事（いやしい事柄）に非ひず、花を栽うえ竹を移うつす清談せいだんに似にたり。（劉克莊）

甕かまをかかえたり鉏すきをかつぐは決きして賤いやしき仕事しごとでない、花を種うえたり竹を種うえたりするは老莊らうしやうの談話だんわをするにも等おなしい。

次号予告「北軒涼吹開疎竹 臥看青天行白雲」

条幅随意（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）

舟尾圭碩先生書



条幅随意（臨書）（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目は一人一点のみとする）

山本飛雲先生臨

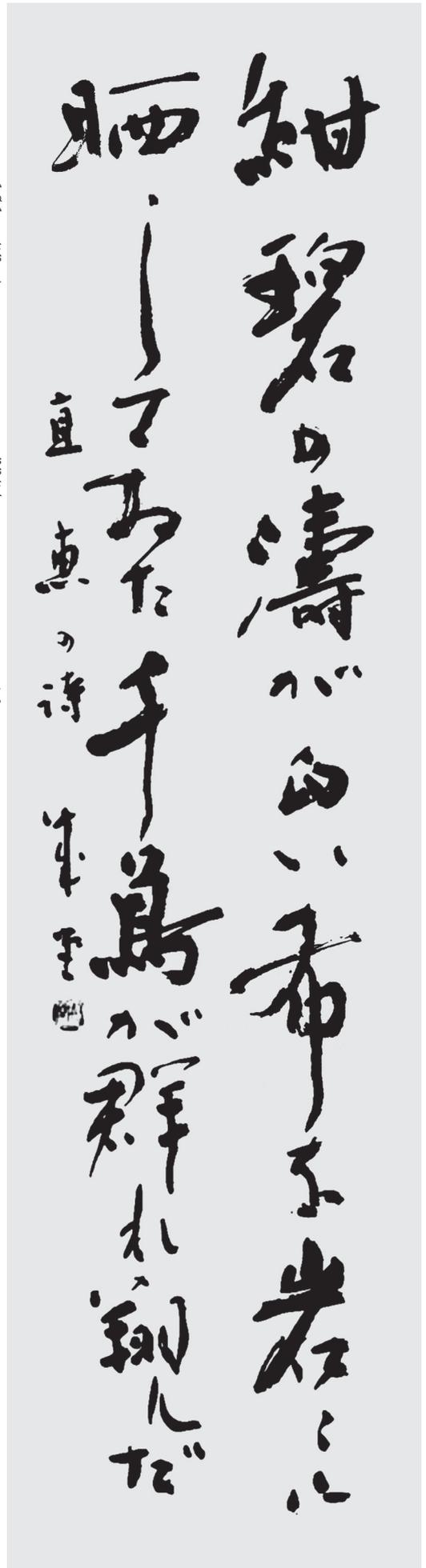


▽ 顔勤礼碑

学業顔氏為優其後職位温氏為盛

条幅随意（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）

吉田成堂先生書



□ 島（抄）

乾 いぬい 直恵 なおえ の詩

紺碧 おおなみ の濤 なみ が白い布 ぬい を岩 いわ 々に晒 さら してゐた。千鳥 せうじう が群 ぐん れ翔 と んだ。

条幅随意（半折1/2横のみ）（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）



井之上 南岳先生書

□ 心 しん 華 げ

「心華」とは、心の華（花）である。誰の心の中にも一輪の心華が与えられているという。清らかな心の花を咲かせてみたいものだ。

△手本（課題例）にとられず意欲的な作品を期待します。▽

半折作品は各課目ごとに横1/2に一枚ずつたんで提出ください。

条幅随意（半折1/2）漢字・詩文書の手本は、各月交互の掲載となります。

(この課題で書体は自由。但、この課題は一人一点とする)

□ 遊魚ゆうぎょ緑荷りよくかを動うごす
池水にたわむれる。



次号予告「清暑澄潭月」

吉田成美先生書

(この課題で書体は自由。但、この課題は一人一点とする)



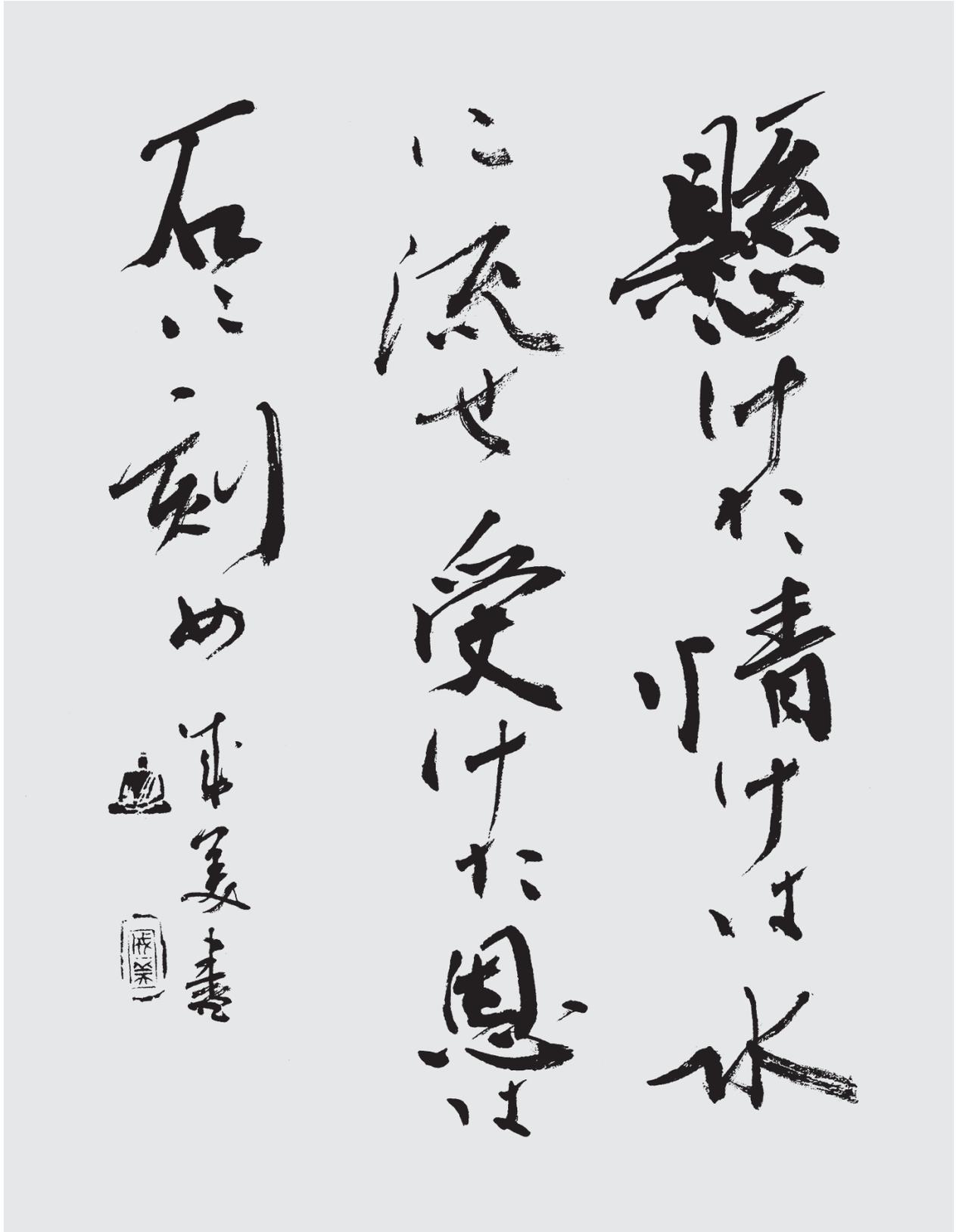
□ 遊魚^{ゆうぎょ}緑荷^{りよくか}を動^{うご}す
池水にたわむれる。

次号予告「清暑澄潭月」

吉田成美先生書

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

半紙随意の漢字・詩文書の手本は、各月 交互の掲載となります。



△詩文書▽
懸けた情けは水に流せ、受けたる恩は石に刻め
(仏教經典より)

吉田成美先生書

（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課題は一人一点とする）

▽ 顔勤礼碑

學業
顏氏

成美
氏



△ 臨書▽ 横画の抑揚や向勢、円筆、蚕頭燕尾などを意識して書きましょう。

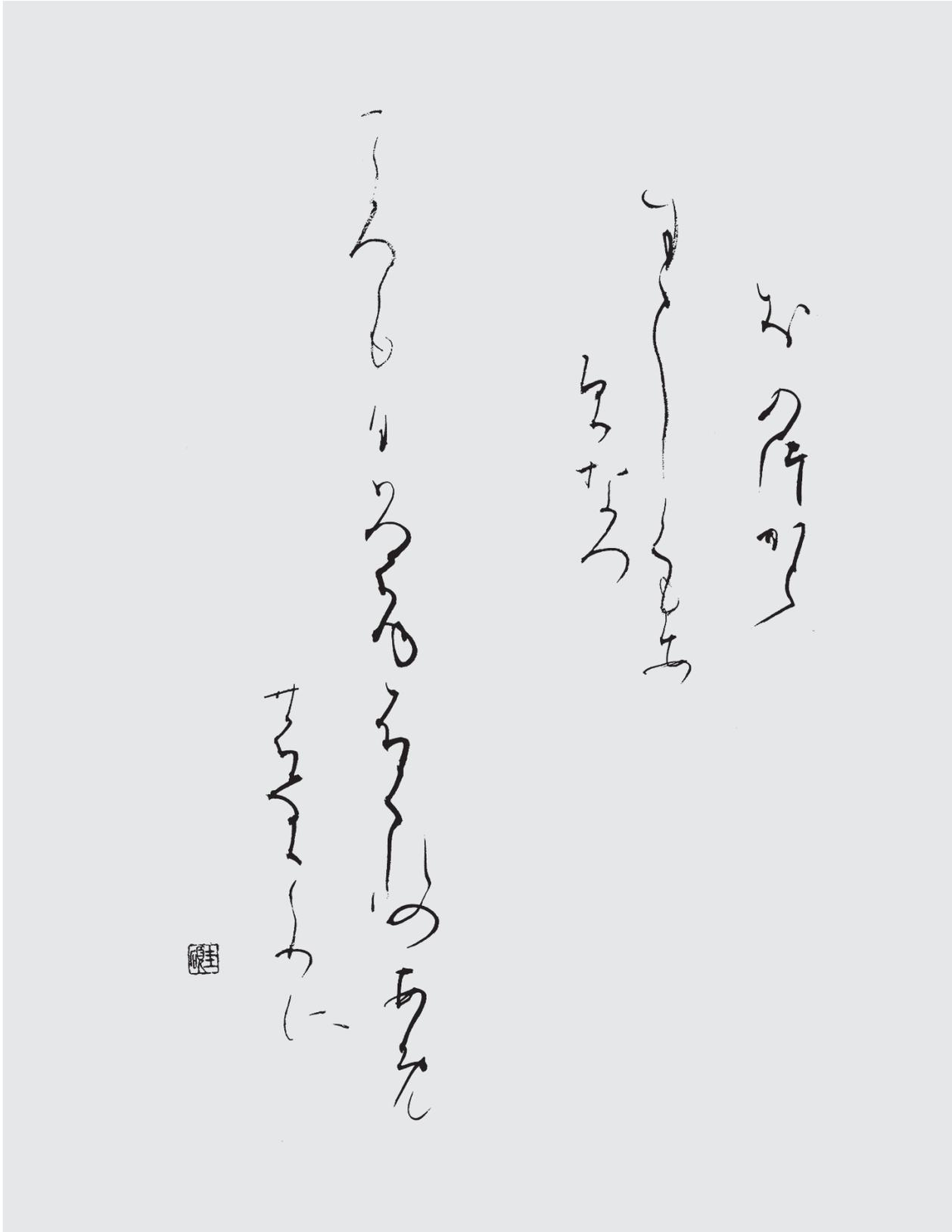
「學業顏氏」

吉田成美先生臨

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

△仮名▽

おの徒^つから すゝしくもある可^か なつころも 日裳^{ひも}ゆふくれの あ免^め農^のなこりに



おのつから 涼しくもあるか 夏衣 ひもゆふくれの 雨のなこりに

舟尾圭碩先生書

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

半紙随意の実用書・手紙文の手本は、各月 交互の掲載となります

△実用書▽

会津塗

結城紬

益子焼

桐生織

岩槻人形

房州うちわ

江戸切子

鎌倉彫

姓
号

江戸切子	岩槻人形	益子焼	会津塗
鎌倉彫	房州うちわ	桐生織	結城紬

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目A・Bのいずれか一点のみとする)

書譜

△暮らしに役立つ書▽

拝啓 うだるような暑さがつづいておりますが
夏バテなどなさうしていませんか。

そろそろ盆太鼓の練習が聞こえる時期
になりました。去年の夏は、あなたと温泉にも
出かけましたね。今年も、えーぶりに息子
一家が帰省する予定で、我が家もにぎやかな
夏になりそうです。

しばらくは酷暑がつづきそうとの予報です。
くれぐれもご健康にお気を付けてください。

敬具

野のある便箋に書いてみよう。

△26cm×18cm▽

紙質は自由。

※ 本研究社にて「特選便箋」を発売しております。本誌裏面をご参照の上、ご利用ください。

小 畠 秋 聲 先 生 書



今月のかきかたドリル (形や注意する点に気をつけてゆくり書こう！)

中学	環	環	環						
小学6年	夏	夏	夏						
小学5年	周	周	周						
小学4年	感	感	感						
小学3年	竹	竹	竹						
小学2年	海	海	海						
小学1年	え	え	え						
ようねん	支	支	支						

一般の方も是非チャレンジしてください。

坂元 紫香 先生 書

はすの花

小学4年

光るにじ

小学3年

サラフダ

小学2年

なす

ようねん・小学1年

(この課題以外の語句のものもよい。但し、その学年にふさわしい語句が望ましい。)

輝ける未来

中学2・3年

輝く月光

中学1年

働き者

小学6年

白い雲海

小学5年

秋永春霞先生書

△条幅¼ || 四尺画仙紙半折¼ : 68cm × 17.5cm ▽

□「トメ」「ハライ」の筆づかいの違いに気をつけて、ゆっくりといねいに書きましょう。



小学二年

次号予告「むぎのほ」

□「むすび」は、筆の軸だけをまわさないように気をつけて書きましょう。



ようねん・小学一年

次号予告「こめ」

坂元紫香先生書

□平仮名の「結び」の筆使いに気をつけ、「花」の「ハライ」「ハネ」はゆっくりと書こう。



小学四年

次号予告「せみの声」

□画の接する場所や、「ハネ」「ハライ」「曲がり」に気をつけ、伸びやかに書こう。



小学三年

次号予告「夕やけ」

吉田成美先生書

小学五年

雲海

次号予告「落葉」

□「雲」は、あめかんむりの左右のバランス、点の位置に注意し、「海」は、毎々を大きめに。

小学六年

働く

次号予告「美しい自然」

□「働」は、重の中心のたて画が中央にくるように気をつけ、「く」はやや太めに書こう。

秋永春霞先生書

中学一年

月光

次号予告「人間の尊厳」

□文字の中心に気をつけ、点画の連続を意識し、リズムに乗って思いきりよく書こう。

中学二・三年

輝ける
未来

次号予告「人権尊重」(行書)

□漢字と平仮名の調和に注意し、各文字の点画の流れを意識して伸びやかに書こう。

吉田成美先生書

「なかく」のきでる
「なかく」のきでる
「なかく」のきでる

「とめる」
「とめる」
「とめる」

「はねる」
「はねる」
「はねる」

七夕 (たなばた)

段 級	
氏 名	
七夕にねがいをした びやくに書いて、たなばた にのるとねがいかか なつと言われてます。	

小学三年

「母ではない」みんなのおまにちゅうする
「はなはな」
「はなはな」
「はなはな」

段 級	
氏 名	
広に かに 小さな魚の 海 <small>の</small> と	
きょうだいたちが くらして いた。	

小学二年

小学六年

二よみのラエでは、立夏から立	秋の前日までを「夏」といいます。	夏から秋へと向かっていくので	この季節の様子はどういふ言	葉で表されていくでしょう。
----------------	------------------	----------------	---------------	---------------

木欄様様 ++ 草草葉葉 一十主主表表

【とめる】
【長めにはねる】

深い田沢湖の環境に合わせて生き	ていたクニマスがどうして浅い西	湖で命をつがいでいたのだろうか。	生物にはそれぞれ子孫を残してい	くために必要な環境がある。
-----------------	-----------------	------------------	-----------------	---------------

1 環境環境 ++ 産産培培境境 、ノ必必必

小 島 秋 聲 先 生 書